

平成25年度後期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成26年1月22日(水)～2月18日(火)

(3) 実施科目

アンケート実施率は90.5%(昨年度同期93.0%)で、回答率は76.9%(昨年度同期74.2%)であった。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	117	107	95	88.8%	4,289	3,112	72.6%	66.5%
工学部	81	76	75	98.7%	4,299	3,073	71.5%	68.9%
人間文化学部	160	157	126	80.3%	4,780	3,543	74.1%	72.7%
人間看護学部	31	17	17	100.0%	1,058	977	92.3%	93.4%
全学共通教育	209	206	197	95.6%	5,988	5,161	86.2%	83.2%
人間学	26	26	23	88.5%	1,976	1,351	68.4%	69.3%
合計	624	589	533	90.5%	22,390	17,217	76.9%	74.2%

*本年度は、別に携帯電話等を利用した授業評価アンケートを10科目で実施している。(うち1科目はマークシート実

*開講科目は平成24年度後期は591科目であったが、平成25年度後期は624科目となった。

*アンケート実施率は、実施対象科目に対する実施率を表す。

*開講科目から実習等の科目を除き、実施対象科目としている。

*全学共通教育の開講科目のうち、国際コミュニケーション学科の英語Ⅰ～Ⅳのa.bはそれぞれ2人の教員で担当しているため、計16科目で計算している。

(4) 設問内容

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

- ①4回以上欠席 ②3回欠席 ③ 2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席

設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

- ①0分 ②0～10分 ③10～30分 ④30分～1時間 ⑤1時間以上

設問4 授業内容は興味の持てるものでしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問5 授業レベルはどう思いましたか

- ①低度 ②やや低度 ③適度 ④やや高度 ⑤高度

- 設問6 授業は理解できましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問9 教員の教え方は適切でしたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問12 この授業の満足度は、どの程度ですか
①とても低い ②やや低い ③普通 ④やや高い ⑤とても高い
- 設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

※ このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

H24

アンケート項目	環境	工	人文	人看	全共	人間学	全学	全学
Q1.授業への出席	4.2	4.3	4.1	4.8	4.3	4.0	4.2	4.1
Q2.受講態度は真剣だったか	3.8	3.8	3.7	4.0	3.8	3.5	3.8	3.8
Q3.この授業に対する学習時間	2.6	3.0	2.3	2.5	2.5	1.7	2.5	2.5
Q4.授業内容への興味	3.7	3.5	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6	3.6
Q5.授業レベル	4.0	3.8	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1
Q6.授業の理解	3.4	3.2	3.5	3.5	3.5	3.3	3.4	3.4
Q7.より深く学びたくなったか	3.5	3.3	3.6	3.7	3.4	3.3	3.5	3.5
Q8.履修の手引きとの一致度	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.6
Q9.教員の教え方は適切か	3.7	3.6	3.8	3.7	3.8	3.5	3.7	3.7
Q10.教え方で優れていた点								
Q11.教え方で工夫すべき点								
Q12.授業の満足度	3.6	3.4	3.6	3.6	3.6	3.4	3.6	3.5
Q13.迷惑行為に対する対応	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.5

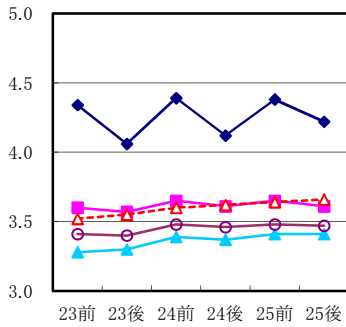
※ Q10およびQ11については、ポイント評価でないため平均ポイントは示していない。

(2) 平均ポイントの学期別推移（過去3カ年）

出席・興味・理解・深化・手引きに関する学部等別のポイント

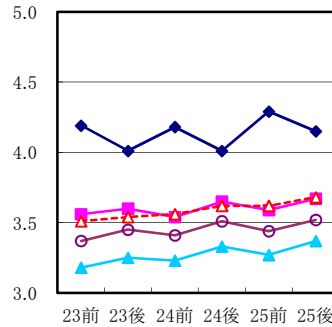


ア 全学



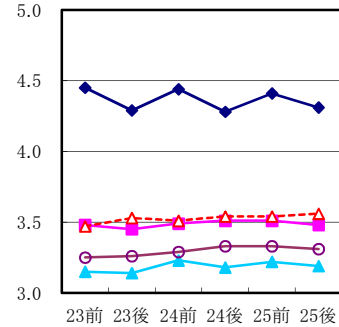
出席は、前期が高く後期が低い傾向が続いている。
全体的には微増の傾向が続いている。

イ 環境科学部



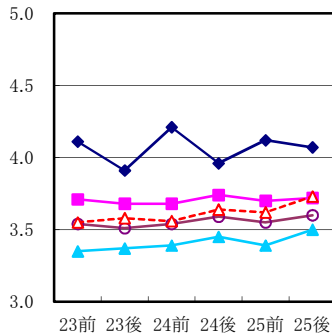
全体的に微増の傾向が続いている。

ウ 工学部



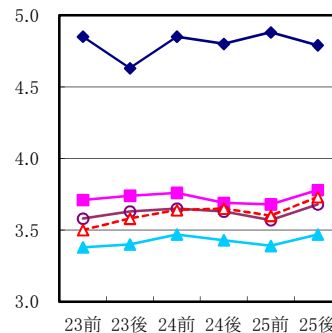
出席は平気して高く、他学部と比べて、前期・後期の差が少ない。

エ 人間文化学部



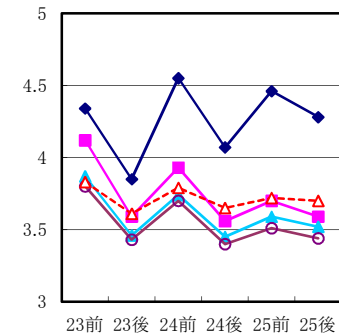
ほぼ同ような推移であるが、興味を除いてわずかに上昇傾向にある。

オ 人間看護学部



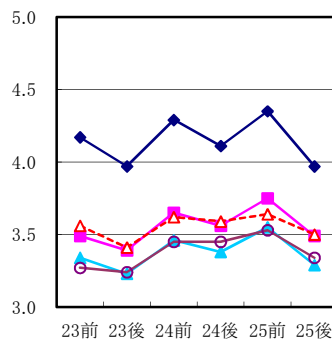
他学部と比べ、出席のポイントが常に高い。

カ 全学共通教育推進機構



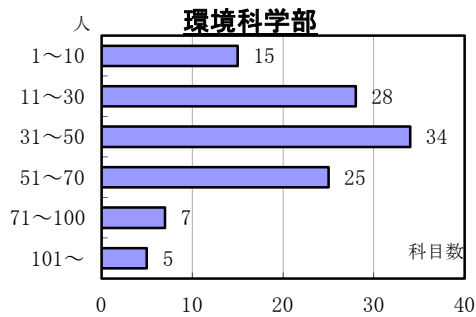
*23後までは、国際教育センターのデータ

キ 人間学

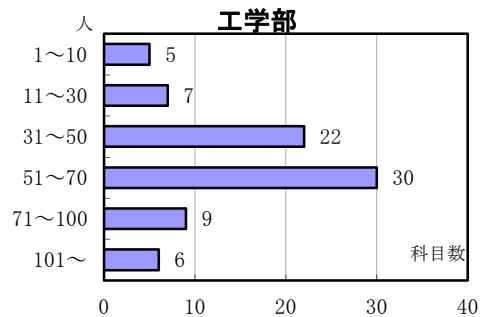


ほぼすべての項目において、上昇の傾向にあったが、今期は下降した。

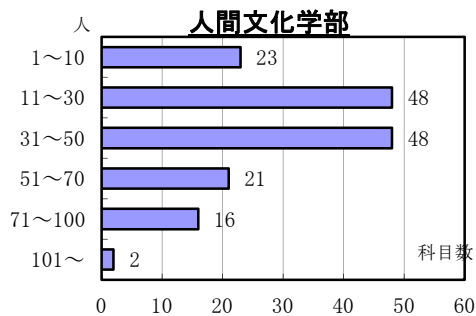
※ 参考（科目別受講登録者数の状況）



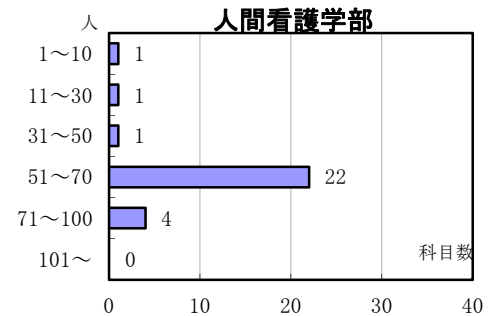
- 平均履修登録者数 42.4人
(H23:49人)(H24:46.3人)／科目



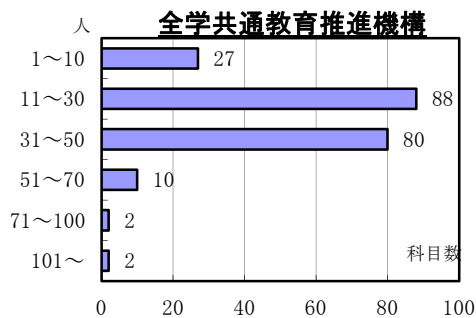
- 平均履修登録者数 55.2人
(H23:54人)(H24:55.2人)／科目



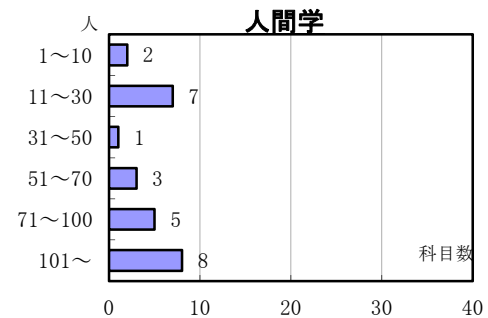
- 平均履修登録者数 36.7人
(H23:41.9人)(H24:36.4人)／科目



- 平均履修登録者数 60.4人
(H23:53.2人)(H24:55.9人)／科目



- 平均履修登録者数 29.4人／科目
(H24:30.8人)／科目



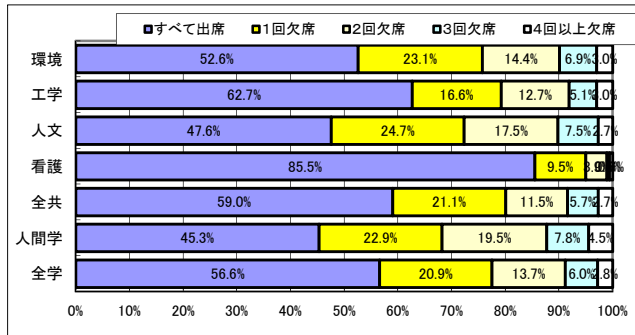
- 平均履修登録者数 79.9人
(H23:104人)(H24:97.1人)／科目

人間看護学部の1科目当たりの履修登録者数の平均は年々増加し、人間学では減少している。
人間文化学部は、30人以下の授業が約45%ある。

なお、履修登録者数が10人以下の科目は、全学で73科目(H23:45科目,H24:59科目)と年々増加している。特に、人間文化学部(21科目→23科目)と全学共通教育(20科目→27科目)で増加している。

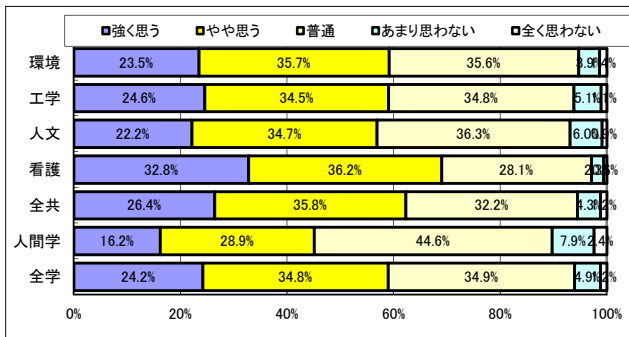
(3) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか



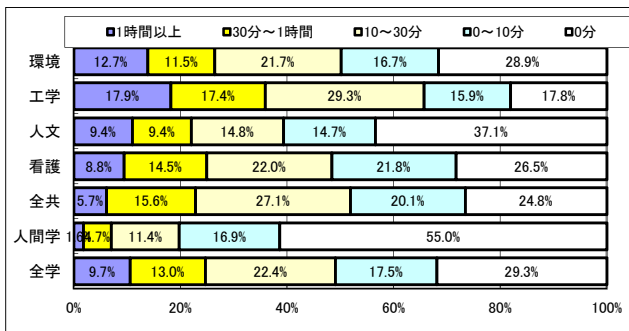
全学平均では「すべて出席」の授業が50%を超えており、例年同様人間看護学部の出席率が高い。
分布は全体として例年とあまり変化はない。
3回以上欠席するものは、人間学で増加し1割を超えている。

設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか



受講態度は59.0%が真剣(「強く思う」「やや思う」と回答している。
前年同期と同じような分布が続いているが、人間学では「真剣」とする割合が減少している。

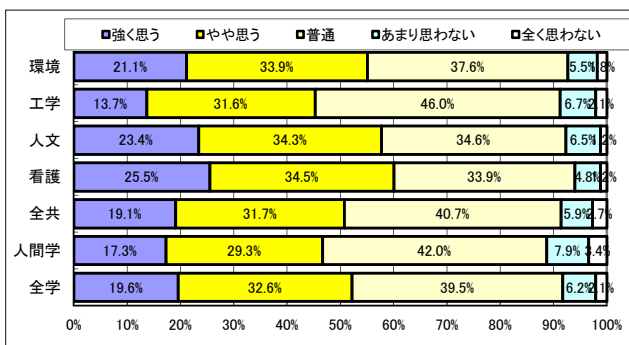
設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか



全学平均では、「0分」とする割合は30.1%から29.3%へ減少したが、一方で「30分~1時間」「1時間以上」とする割合の合計は各学部等で下記のとおりとなった。

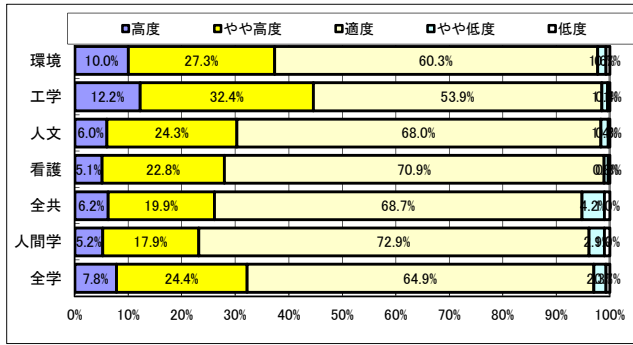
環境	H24後 27.4%	→	H25後 24.2%
工学	H24後 33.5%	→	H25後 35.3%
人文	H24後 20.4%	→	H25後 18.8%
看護	H24後 20.2%	→	H25後 23.3%
全共	H24後 23.3%	→	H25後 21.3%
人間学	H24後 8.2%	→	H25後 6.3%
全学	H24後 23.9%	→	H25後 22.7%

設問4 授業内容は興味を持てるものでしたか



前年同様、約半数は授業に興味を持っていると回答しているが、約1割弱で興味をもてないとする学生も存在し、特に人間学で増加している。

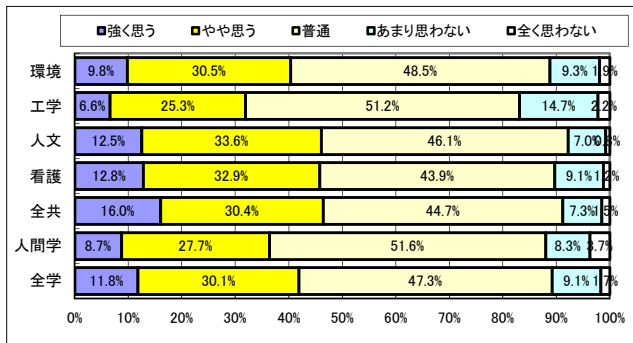
設問5 授業レベルはどう思いましたか



例年と同様の分布で、授業レベルについて「適度」とする割合が全学平均で6割を超え、「やや高度」と併せると、8割を超える科目でほぼ適切なレベルとなっていると思われる。

また、前年に引き続いて、全学共通教育において「やや低度」とする割合が高い。人間学においても「やや低度」とする割合が微増している。

設問6 授業は理解できましたか

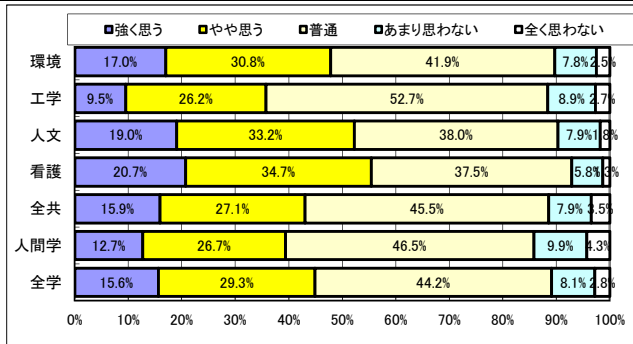


概ね授業は理解できているが、他学部等に比べて工学部において、「あまり思わない」「全く思わない」の率が高い。

全学平均では、「あまり思わない」「全く思わない」は、以下の通り年々減少している。

- 全学 H22後 16.6%
- H23後 14.6%
- H24後 11.6%
- H25後 10.8%

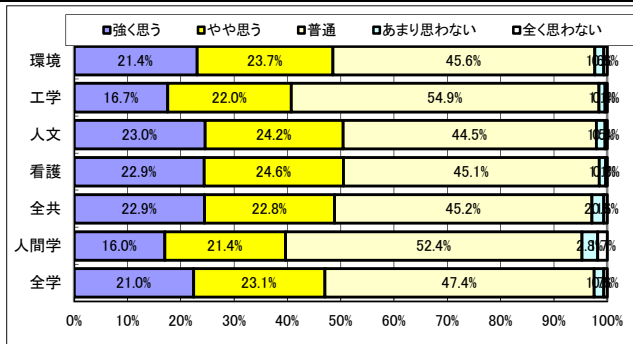
設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか



全体的な分布としては例年と変わらず、半数近くが深く学びたくなったと回答している。

前年度同期と比較すると、深く学びたくなったと「強く思う」「やや思う」とする回答は、全学平均ではほとんど変わらないが、人間学で、45.4%から39.4%へ減少している。

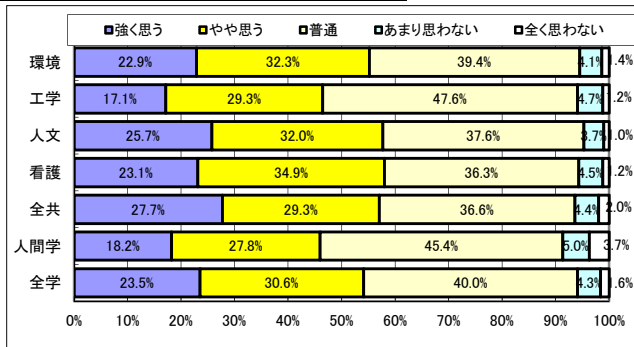
設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか



履修の手引きとの一致について、否定的な回答はどの学部等でも非常に少なかった。

前年度同期とほぼ同じ分布だが、「強く思う」とする回答は、人間学を除き、学部等で少しずつ増える結果となった。

設問9 教員の教え方は適切でしたか

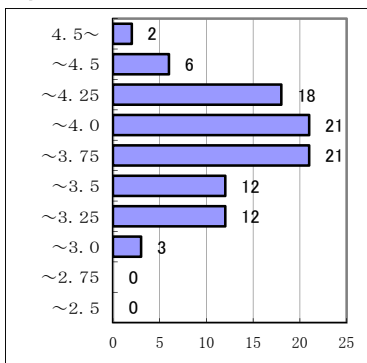


教員の教え方について、約半分の学生には満足が得られていたと思われる。
また、人間学では、前年同期と比べると適切だと「全く思わない」が、2.0%から3.7%に増加している。

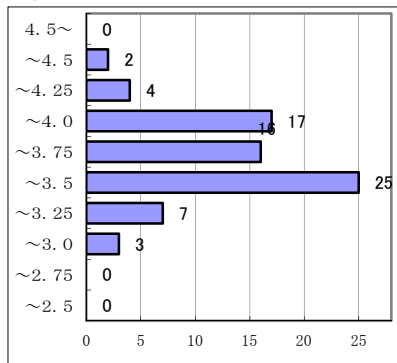
※ 設問9「教員の教え方は適切か」についての区分別分布

※ 縦軸:ポイント 横軸:科目数

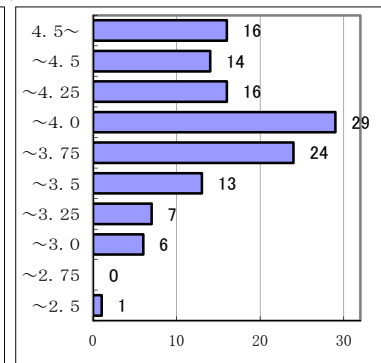
①環境科学部 (平均3.6→3.7)



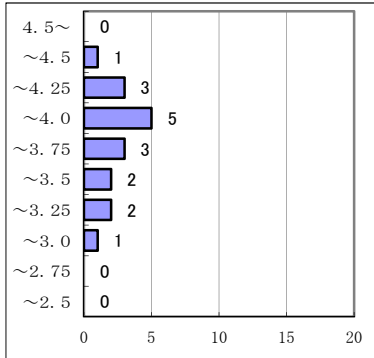
②工学部 (平均3.5→3.6)



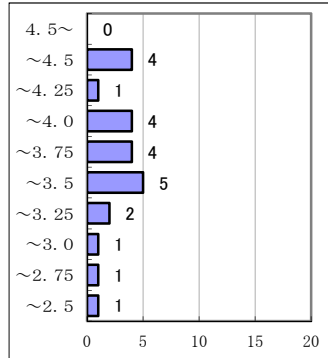
③人間文化学部 (平均3.8→3.9)



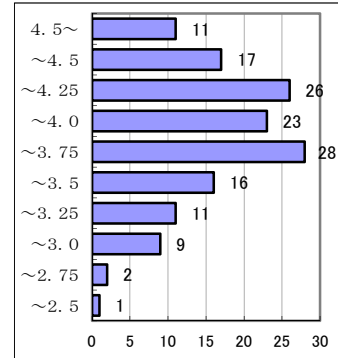
④人間看護学部 (平均3.6→3.7)



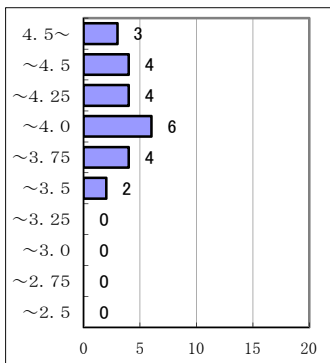
⑤人間学 (平均3.7→3.6)



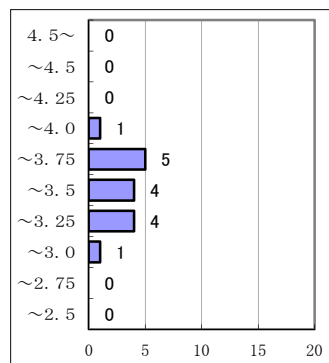
⑥語学 (平均3.8→3.8)



⑧健康・体力科学 (平均3.9→4.0)



⑨情報 (平均3.5→3.4)

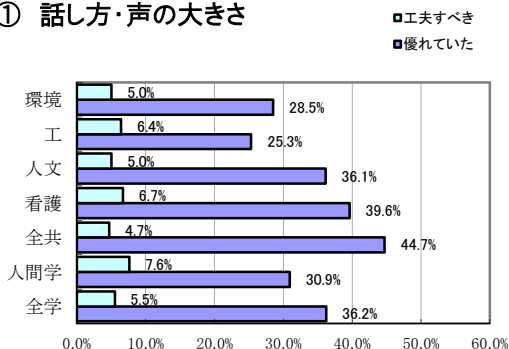


* 教え方については、3.0以下の場合、何らかの改善が必要である場合が多いことから、学部長と相談のうえ、教育実践支援室の協力を得て、授業点検を行うことが望ましい。

設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

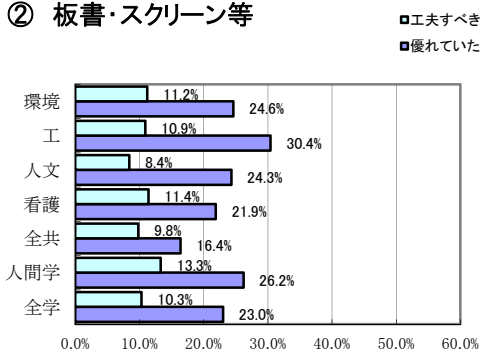
設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

① 話し方・声の大きさ



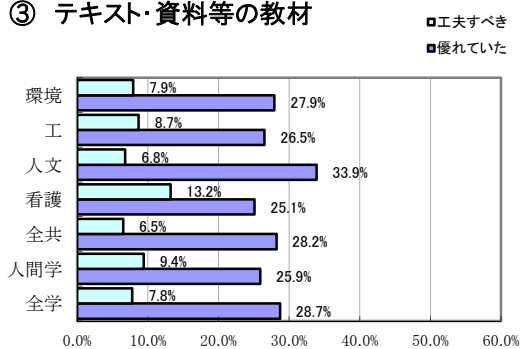
全体的に「優れていた」が多い。工学部では、「優れていた」が減少し、人間看護学部と人間学では「工夫すべき」が増加している。

② 板書・スクリーン等



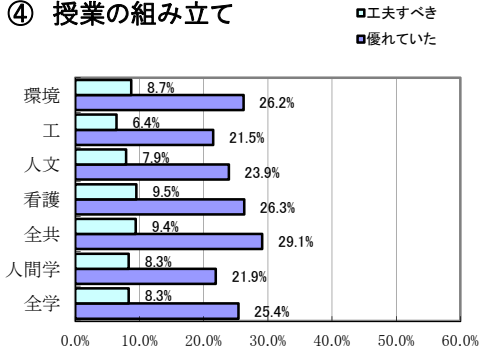
板書・スクリーンでは、「工夫すべき」という回答が、10%近くある。教員の個性が出る項目ではあるが、まだ改善の余地があるものと思われる。

③ テキスト・資料等の教材



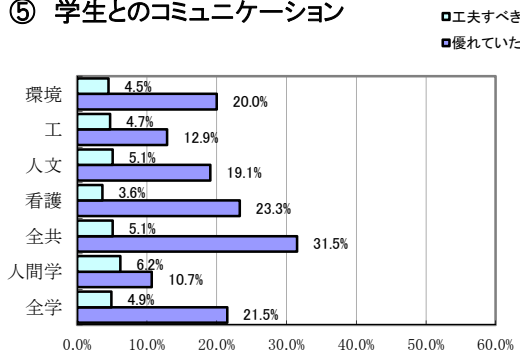
テキスト・資料では、前年同期はほぼどの学部も同じ傾向であったが、本年度は「人間文化学部で「優れている」が増加している。人間看護学部では、逆に「優れている」が減少し、「工夫すべき」が増加している。

④ 授業の組み立て



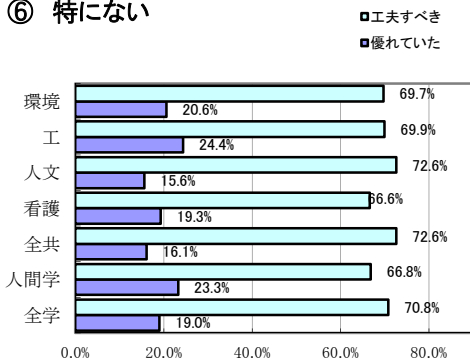
授業の組み立てについては、前年度前期とほぼ同様の回答となった。

⑤ 学生とのコミュニケーション



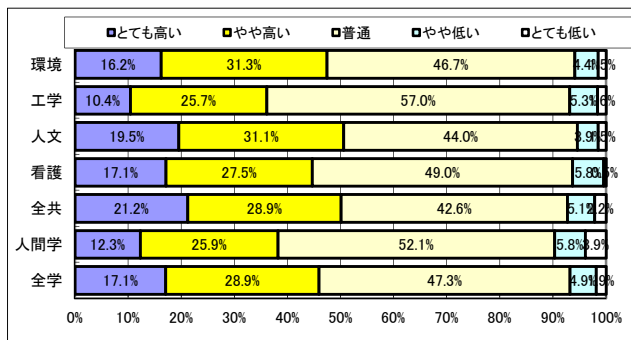
学生とのコミュニケーションについては、全学共通教育で常に高い。平均履修登録者数が少ないことが考えられるが、履修登録者数が比較的少ない人間文化学部では、同様の回答は少ない。

⑥ 特にない



概ね7割近くが「工夫すべき」ところがないという回答であった。

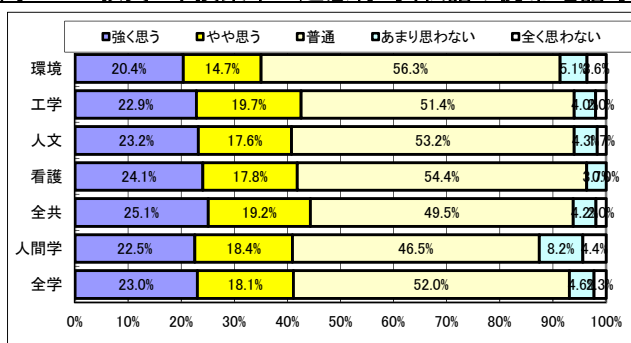
設問12 この授業の満足度はどの程度ですか



授業の満足度は、工学部と人間学を除き、ほぼ同様の分布となっている。
満足度が「最も高い」「やや高い」の割合は以下のとおり。

全共 H24後 48.7% → H25後 50.1%
人間学 H24後 40.4% → H25後 38.2%
全学 H24後 46.1% → H25後 46.0%

設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置をとりましたか



本年度は、アンケート対象科目について、この質問が該当しない場合は「該当なし」と回答するようあらかじめ告知して回答することとした。

割合で比較すると、前年度同期より適切な処置をとったとした割合が増加している。

「強く思う」「やや思う」の割合は下記のとおり。

全学 H24後 22.4% → H25前 41.1%

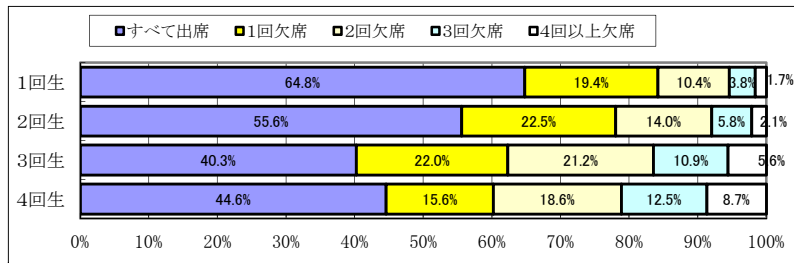
(4) 学生属性(学年別)の集計

	環境	工	人文	看護	計
1回生	2,160	1,760	2,702	924	7,546
2回生	1,819	1,503	1,634	583	5,539
3回生	793	927	896	84	2,700
4回生	241	236	280	48	805
合計	5,013	4,426	5,512	1,639	16,590

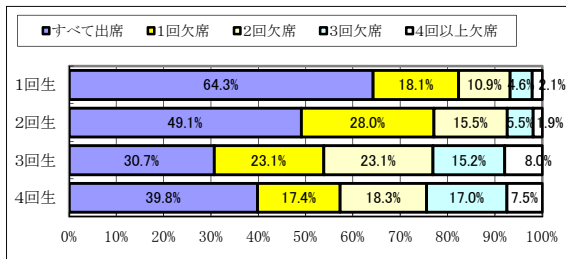
※ その他(回答数:627)は大学院生
または学部・学年が不明

Q1 どれだけ出席したか

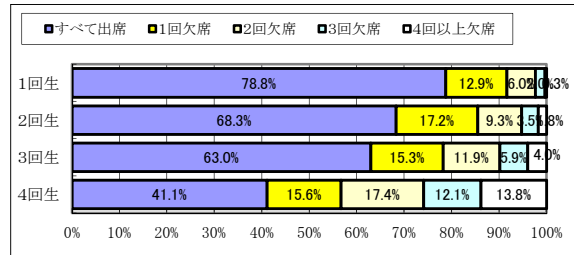
全学



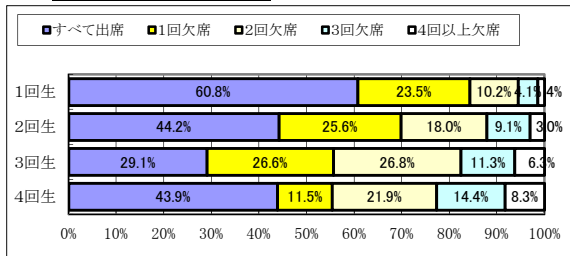
環境科学部



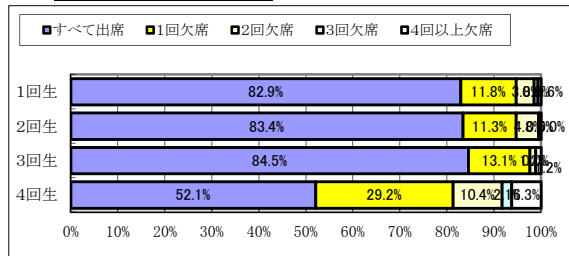
工学部



人間文化学部



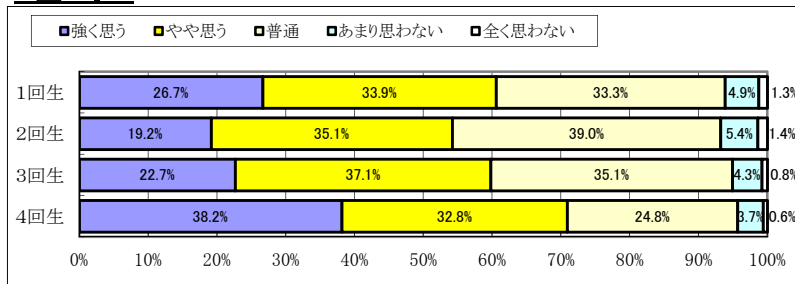
人間看護学部



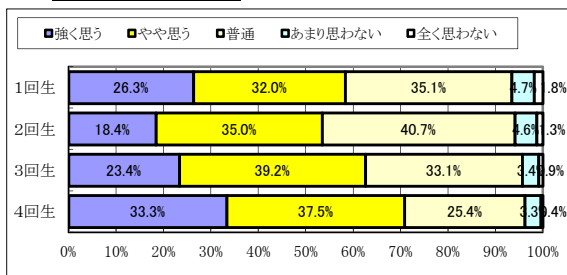
例年同様の分布となっているが、1回生、2回生で、「すべて出席」が増加している。全学でも増加し、6割近くが「すべて出席」と回答していることから、授業への出席率は向上していると思われる。

Q2 受講態度は真剣だったか

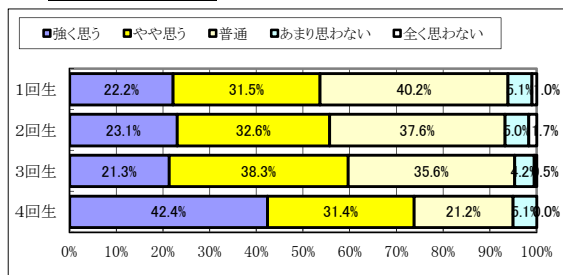
全学



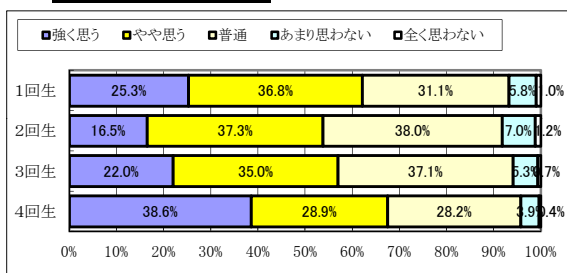
環境科学部



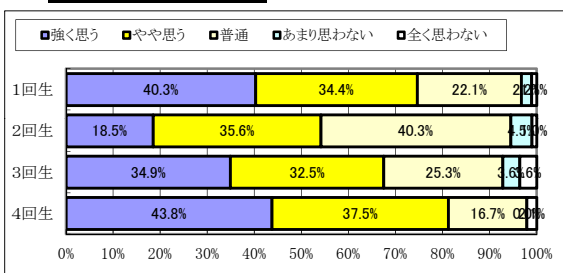
工学部



人間文化学部



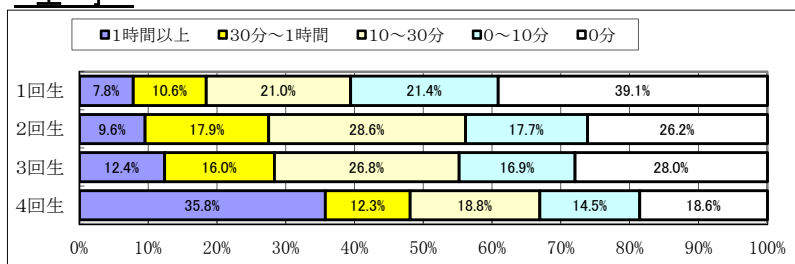
人間看護学部



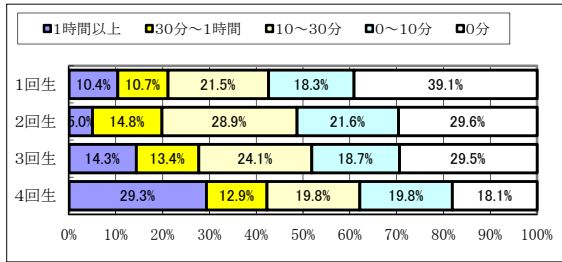
学年別では、いつも4回生が「真剣」とする割合が高く、1回生と4回生では前年同期と比べても「強く思う」の割合が増加している。真剣と「あまり思わない」「全く思わない」と回答する割合は、どの学年でも5%前後で存在し、高学年になるにつれて減少傾向にある。

Q3 当該授業に対する毎週の学習時間

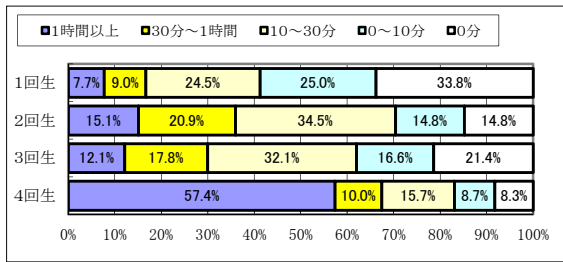
全学



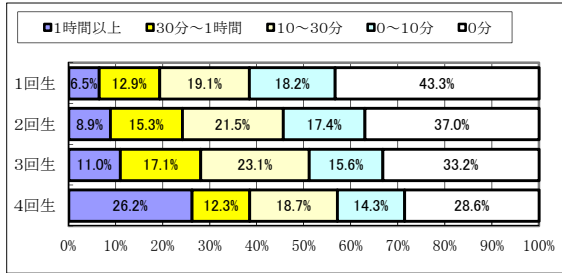
環境科学部



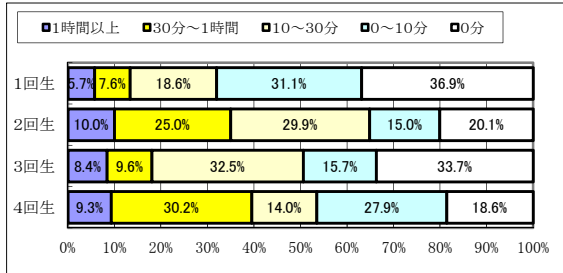
工学部



人間文化学部



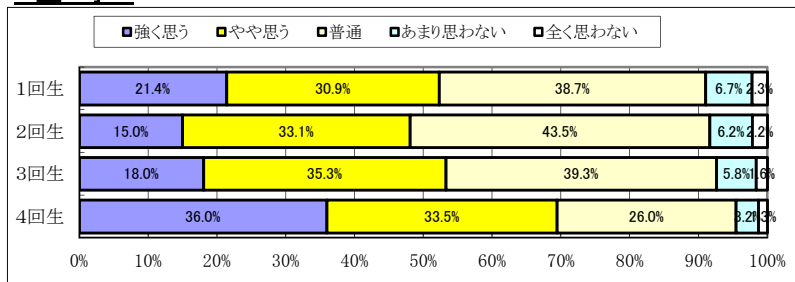
人間看護学部



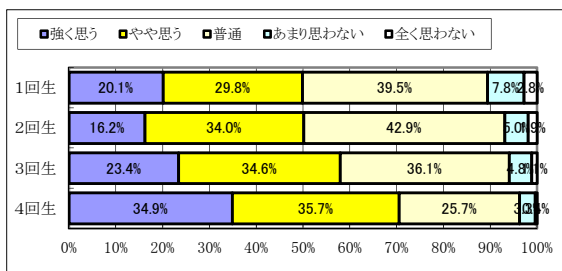
学習時間は、人間看護学部を除き、高学年になるにつれて増加している。前年同期も同じ傾向であったが、環境科学部では、2回生で減少、工学部では2回生で増加している。人間文化学部では、学年進行とともに学習時間が増加する傾向がきれいに出ているが、「0分」と回答する学生が他学部比べて多い。

Q4 興味を持てる内容だったか

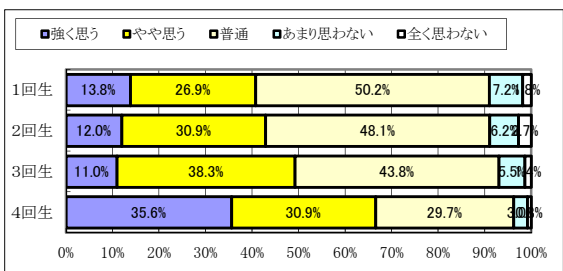
全学



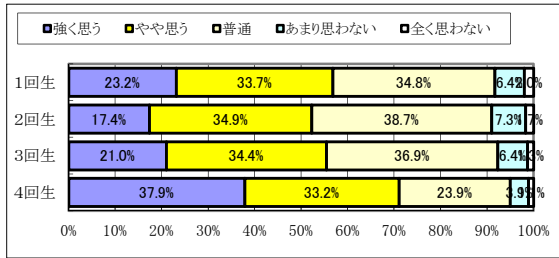
環境科学部



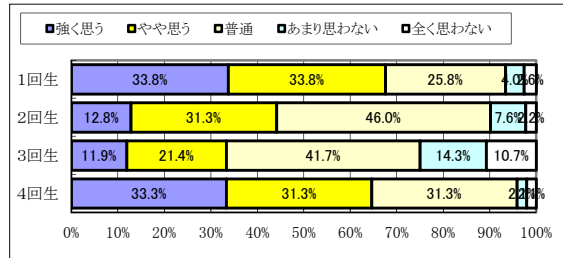
工学部



人間文化学部



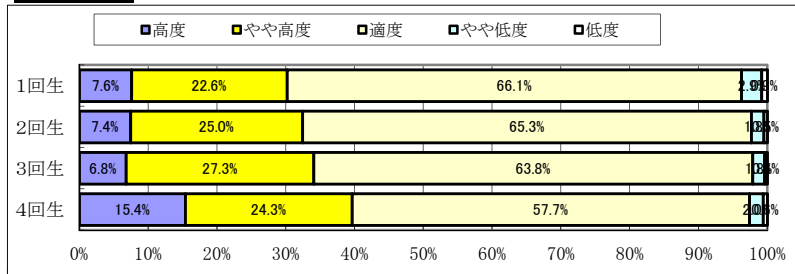
人間看護学部



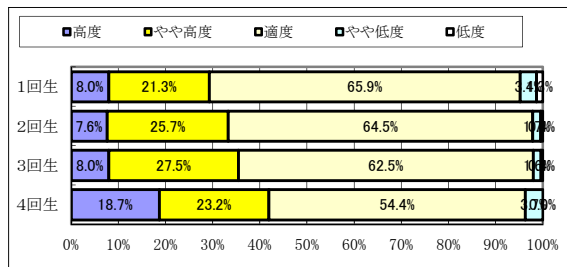
興味については、例年同じような傾向が続いている。1回生と4回生で「強く思う」「やや思う」の割合が高い傾向にある。

Q5 授業レベルはどうだったか

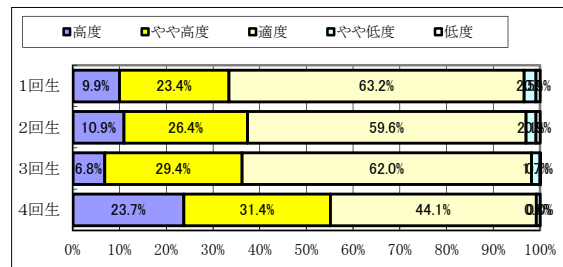
全学



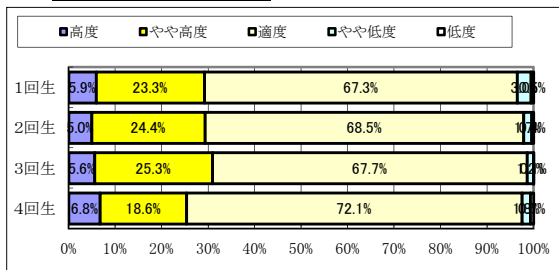
環境科学部



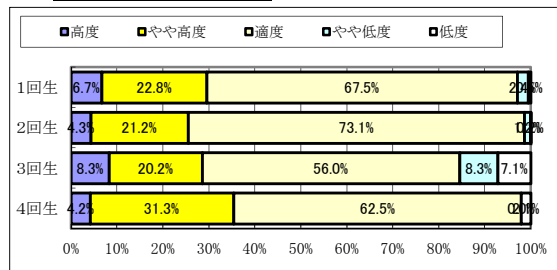
工学部



人間文化学部



人間看護学部



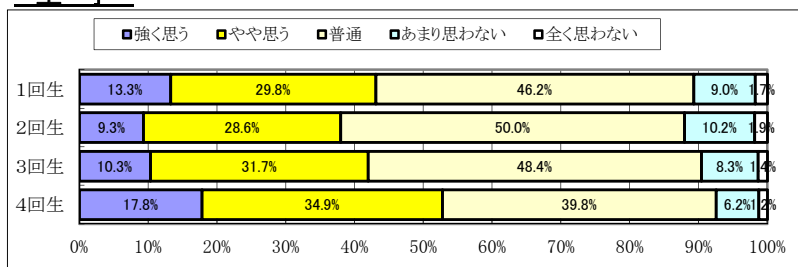
授業レベルが「適度」または「やや高度」とする回答が8割以上を占め、従来と同じような割合で推移している。

環境科学部と工学部の4回生では、前年同期に続き、「高度」とする割合が高いことから、学生の理解の程度を確認しながら授業を進めるなどの工夫が望まれる。

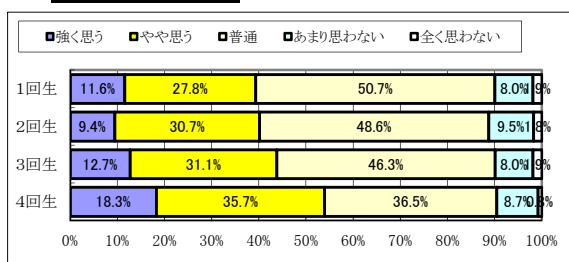
なお、1回生の「やや低度」とする割合が高いのは、全学共通教育と人間学の影響であることから、特に語学科目について、学生の能力に応じたレベル設定が求められる。

Q6 授業内容は理解できたか

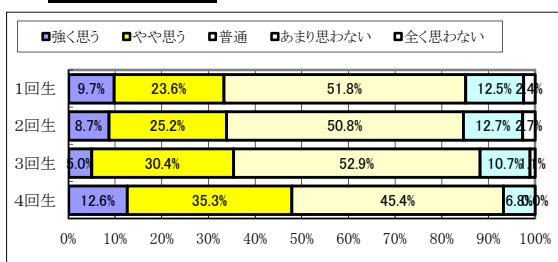
全学



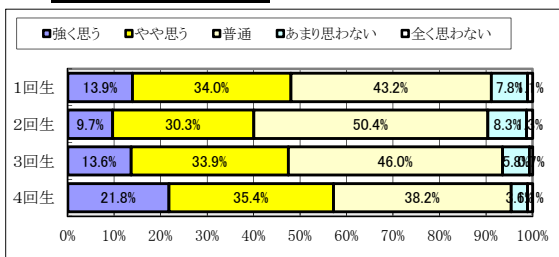
環境科学部



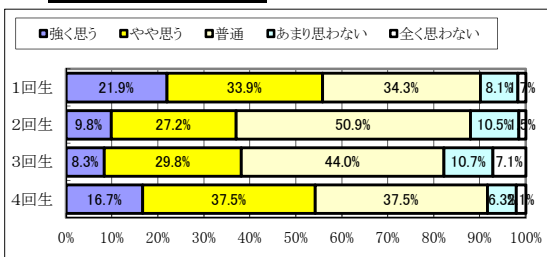
工学部



人間文化学部



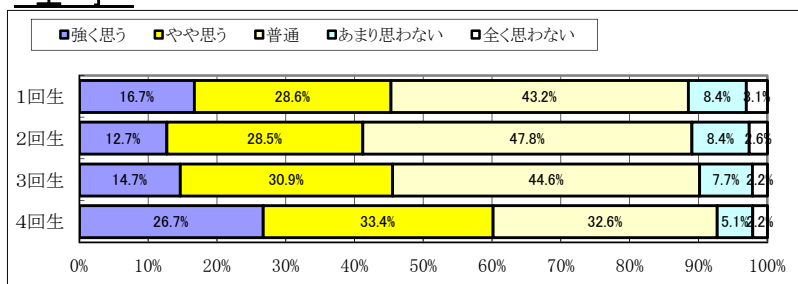
人間看護学部



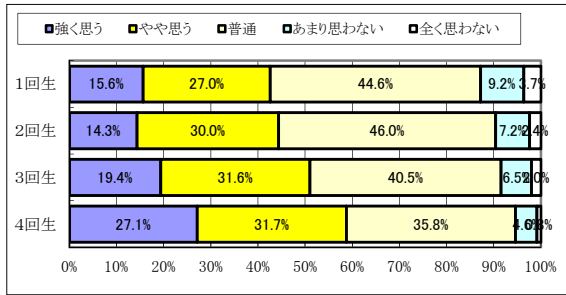
例年通り、2回生が低調な傾向にある。授業を理解できたと「全く思わない」「あまり思わない」が、微減してはいるものの、1割前後存在する。特に工学部の1、2回生や人間看護学部の3回生では15%を超えている。学生の興味や受講態度に起因することも考えられるが、授業が理解できないと回答されることには課題意識を持って望む必要がある。

Q7 より深く学びたくなったか

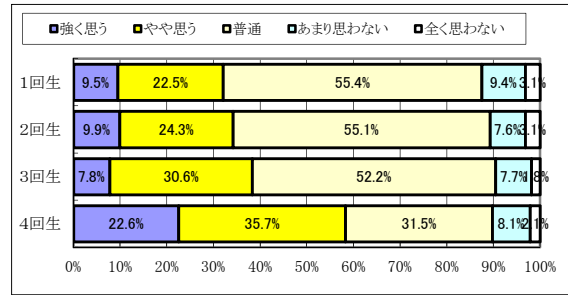
全学



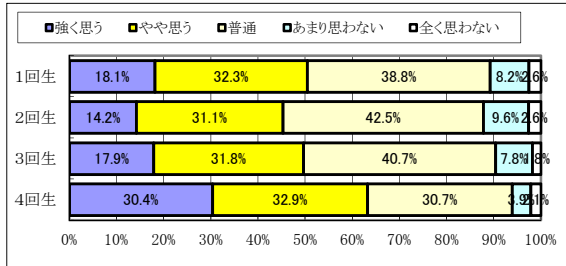
環境科学部



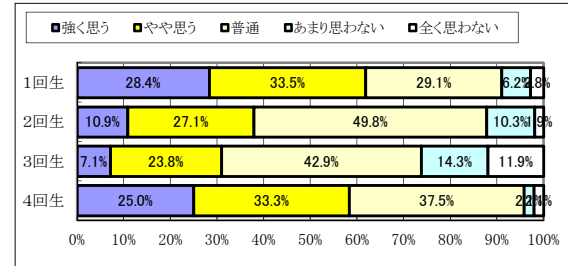
工学部



人間文化学部



人間看護学部



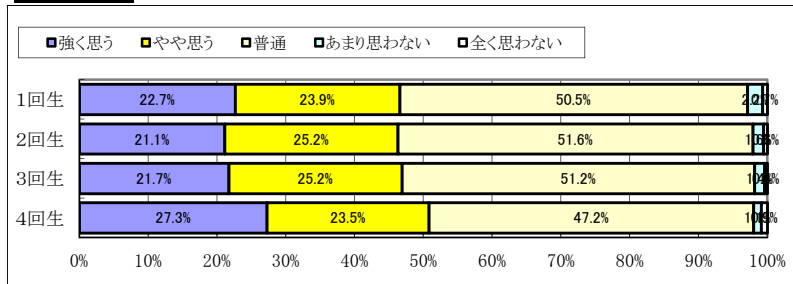
より深く学びたくなったかについては、人間看護学部を除いて、例年と同じような分布であり、総じて4年生のポイントが高い。

人間看護学部を除き、高学年になるにつれて、より深く学びたくなったと回答する割合が高くなっている。

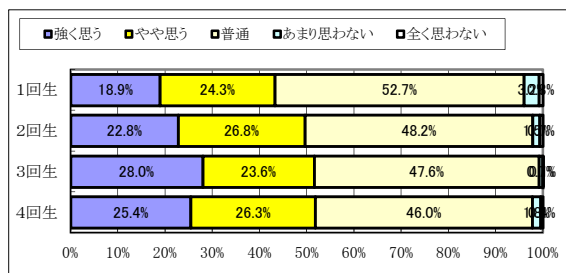
他の項目でも同様であるが、人間看護学部は母数が少ないので、影響を受けやすく、年毎に多少の変動がある。

Q8 履修の手引きと一致していたか

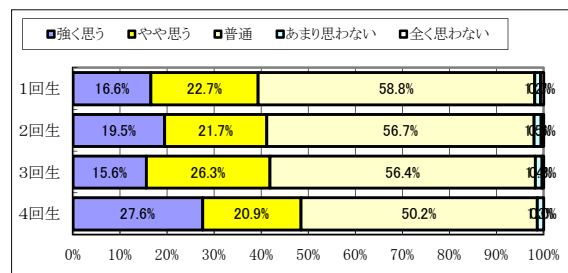
全学



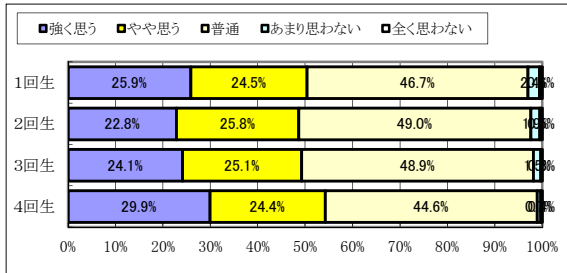
環境科学部



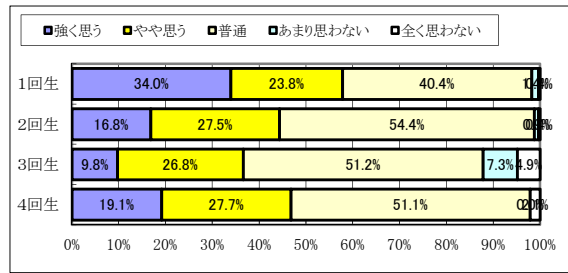
工学部



人間文化学部



人間看護学部

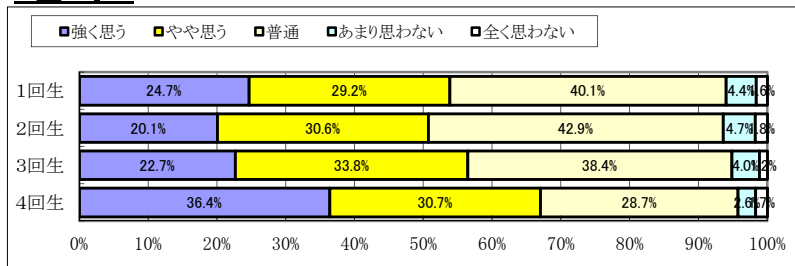


履修の手引きとの一致については、例年と同様否定的な回答はほとんどなく、全体的には手引きと一致している学生は各学年で増加しているものの、依然として履修の手引きと一致しない科目が存在する可能性がある。

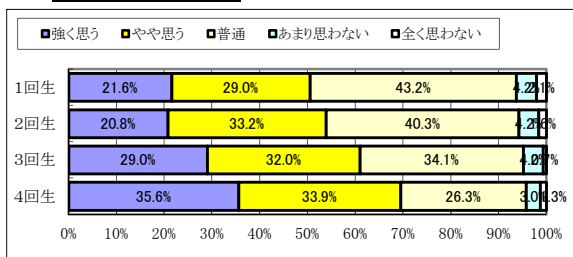
各学部において、手引きと一致していないと思われる科目がある場合は、カリキュラムポリシー等に沿って手引き(講義概要)の内容を点検し、手引きに沿った授業へ改善することが求められる。

Q9 教員の教え方は適切か

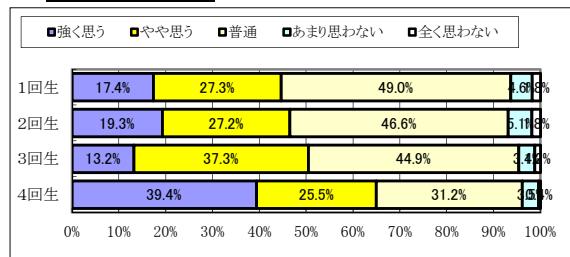
全学



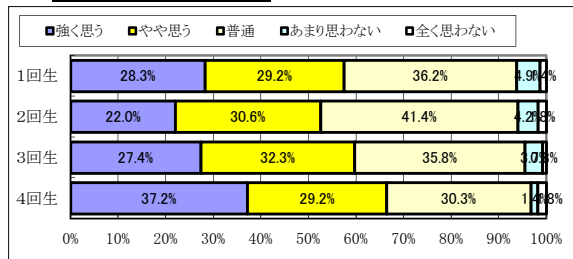
環境科学部



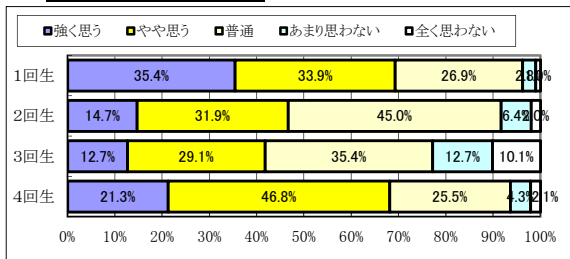
工学部



人間文化学部



人間看護学部

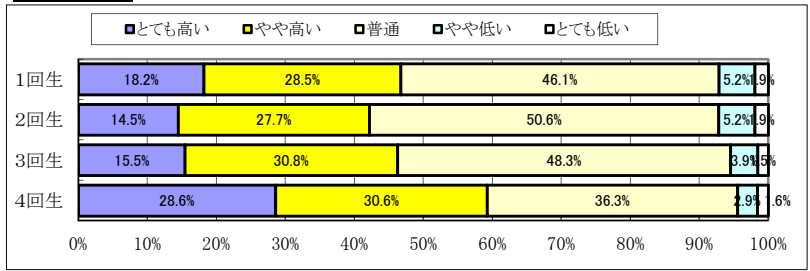


教員の教え方の適切さについて、適切であると「あまり思わない」「全く思わない」は、前年同期に比べて微減し、「強く思う」が増加傾向にあることから、授業改善が進んでいることが伺える。

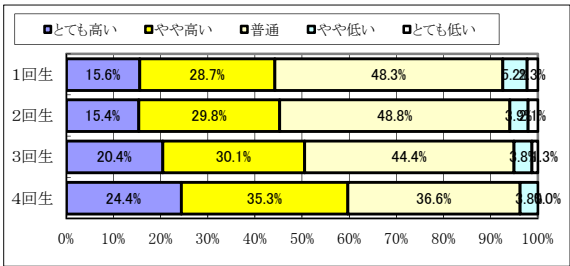
しかし、適切であると「全く思わない」もわずかであるが、存在する。更なる授業改善が望まれる。

Q12 授業の満足度

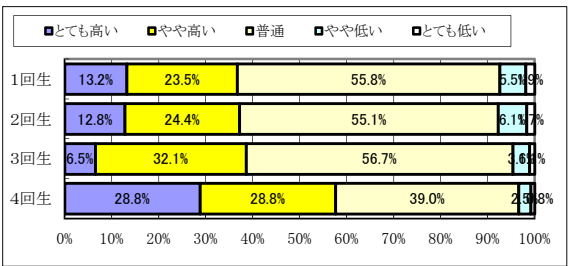
全学



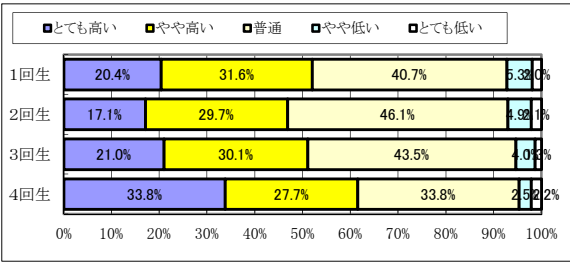
環境科学部



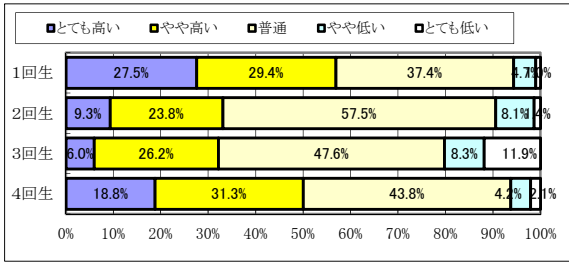
工学部



人間文化学部



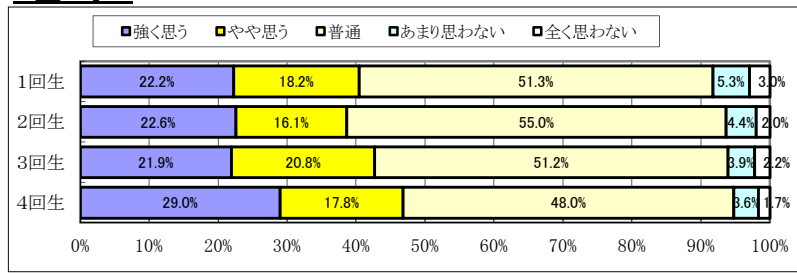
人間看護学部



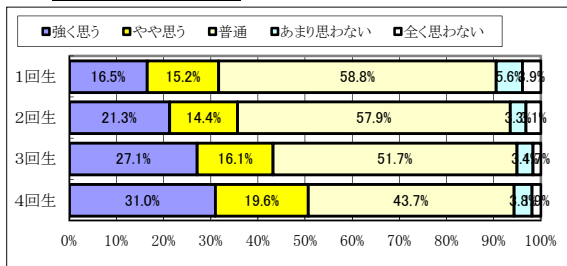
例年通り、授業の満足度は概ね教員の教え方に比例する。
 ただ、教員の教え方に比べて、授業の満足度が「とても高い」「やや高い」の割合が低い。教員の教え方には満足しても全体的には、満足できないことがあると思われる。
 大学としては、原因を分析して、授業改善以外に学生の満足度を高める努力が必要である。

13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか

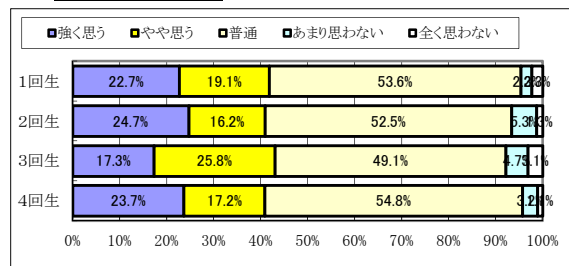
全学



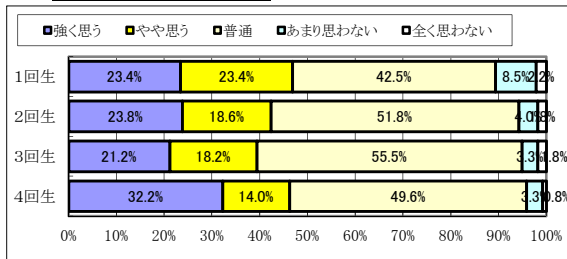
環境科学部



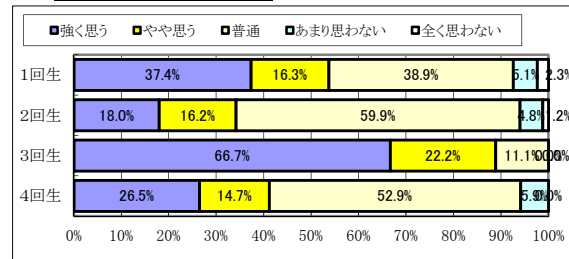
工学部



人間文化学部



人間看護学部



授業中の迷惑行為に対して、適切な処置が取られていないと感じている学生が1割弱存在する。

前年同期に比べて、1回生で適切な処置が取られていないと感じる割合が高かった。迷惑行為を行う学生が増えたとも考えられるが、当然のことながら入学後の早い段階で厳しく対応することが求められる。